

外国語活動におけるコミュニケーション能力の育成 ～台中市陳平國民小学との Skype 交流を通して～

土佐市教育研究所主事（兼務）

土佐市立蓮池小学校 教諭 中村 由美

1 はじめに

コミュニケーションとは、一般的に「人間が互いに意思・感情・思考を伝え合うこと、言語・文字・その他視覚・聴覚に訴える身振り・感情・声などの手段によって行う」ものといわれている。

戦後の日本は復興を目指し、急激な経済成長をとげる中、大阪万国博覧会の開催で再び国際社会を強く意識するようになった。改めて日本は自国も世界の国々の一員であるということに自覚し、他国の人々と共生していくためには、どうするかを考えるようになった。この過程において、英語に対する考え方も「知識を得るため」のものではなく、「コミュニケーションを図るため」のものであるという認識へと変化していった。英語が「コミュニケーションの手段」として捉えられはじめたのである。

平成 23 年度から小学校 5・6 年生の外国語活動が本格的に開始された。外国語が必修化された背景には、次代を担う子どもの「生きる力」、特に「コミュニケーション能力」を育成するねらいがある。

平成 32 年度には、新学習指導要領が全面実施となる予定である。そして、土佐市では、平成 30 年・31 年度と 5・6 年生では新たに年間 70 時間単位を確保し外国語科の内容を扱うよう先行実施となる。3・4 年生は年間 35 時間単位、外国語活動が先行実施される。

平成 29 年 3 月公示 小中学校学習指導要領等の改訂のポイント（抜粋）

（1） 今回の改訂の基本的な考え方

- 知識及び技能の習得と思考力、判断力、表現力等の育成のバランスを重視する現行学習指導要領の枠組みや教育内容を維持した上で、知識の理解の質をさらに高め、確かな学力を育成。

（2） 知識の理解の質を高め資質・能力を育む「主体的・対話的で深い学び」

- 「何ができるようになるか」を明確化

知・徳・体にわたる「生きる力」を子どもたちに育むため、「何のために学ぶのか」という学習の意義を共有しながら、授業の創意工夫や教科書等の教科の改善を引き出していけるよう、全ての教科等を、①知識及び技能、②思考力、判断力、表現力等、③学びに向かう力、人間性等の三つの柱で再整理。

（3） 外国語活動の充実

- 小学校において、中学年で「外国語活動」を高学年で「外国語科」を導入。

※小学校の外国語教育の充実に当たっては、新教材の整備・養成・採用・研修の一体的な改善、専科指導の充実、外部人材の活用などの条件整備を行い支援。

- 小・中・高等学校一貫した学びを重視し、外国語能力の向上を図る目標を設定するとともに、国語教育との連携を図り、日本語の特徴や言語の豊かさに気付く指導の充実。

あくまで、本研究は新学習指導要領を考慮しながら、現行指導要領である外国語活動に則り、小学校では、英語を使った活動を通して、外国語や外国の生活・文化などに慣れ親しみ、積極的にコミュニケーションを図ろうとする意欲や態度を育成する目的を持って進める。

2 テーマ設定の理由

現在、「Hi, friends」を使用しながら外国語活動を行っている。子どもたちは单元ごとに興味を持ち学習している。しかし、なかには発音することを恥じらったり、自信がなく発声することが苦手な子どももいたりする。また、学習する必然性が弱く、学習したことが生かされていないことも少なくない。これは他教科同様、ねらいの明確化が大切だともいえるからではないだろうか。

そこで、子どもがやってみたい、覚えたい、話してみたいと思えるような設定を行い、学習の中で、コミュニケーション能力が主体的かつ自然と身につく方法はないだろうかと考え、台湾の台中市の国民小学との Skype 交流を設定した。その点で最も効果的なものがプロジェクト型の授業の一つ、「学んだ表現を使って Skype で海外の友だちと交流する」活動である。こうした課題解決型の活動なら、子どもたちにも目標が明確になり、最後まで意欲的に取り組めるのではないだろうか。また、台湾は小学3年生から週2時間外国語活動を行っている。英語圏の子どもたちと違い、日本の子どもたちと同じレベルで英語を使って話し合うことができる。そして、時差が1時間程なので学習時間の設定も行いやすい。台湾の子どもたちが、どんな生活をしているのか、どのようなことに興味を持っているのか、互いに習得した英語を使って交流を深め、コミュニケーション能力の育成を目指したい。

3 研究実践

(1) Skype の活用

Skype とは、無料で電話やテレビ電話などといったことができるソフトウェアである。スカイプ同士なら無料で何十時間も利用することが可能である。音声も比較的きれいで、気軽に話することができる。土佐市教育研究所に、機器の設置を依頼した。



(2) 授業計画

【Skype 実施期間】

6年生 平成29年11月 計3日

5年生 平成29年12月 計1日

【Skype 対象学年】

蓮池小学校6年生（グループA17名）と陳平国民小学6年生（クラス1、クラス4）

蓮池小学校6年生（グループB16名）と陳平国民小学6年生（クラス2、クラス5）

蓮池小学校6年生（グループC16名）と陳平国民小学6年生（クラス3）

蓮池小学校5年生（25名）と陳平国民小学4年生（クラス3）（クラス4）

(3) 実施案

Teaching Plan	
School: Chen-Ping Elementary School(6 th grade-Class3) School: Hasukey Elementary School (6 th grade 17students)	
1.Date: November 27 th , 2017 (Taiwan Time:9:30~10:30 ,Japan Time:10:30~11:10)	
2. Objectives of this lesson :	
The students will	
(1) be able to enjoy speaking in English.	
(2) be able to introduce Japanese school life to friends in Taiwan.	
(3) be able to understand the Taiwanese friends' introductions.	
(4) notice the differences between Japanese culture and culture in Taiwan through exchange.	
5. Teaching Procedure	
Procedure (time)	Students' Activities Expressions
Greetings (4min.)	(Chen-Ping Elementary School) (Hasukey Elementary School) Opening Greetings
Presentation (12 min.)	(Chen-Ping Elementary School)
Presentation (12 min.)	(Hasukey Elementary School) ① Our School and our city (A) This is Japan.This is Kochi prefecture. This is Tosa city. This is our school. (B) We have 187 students. There are 33 students in the 6 th grade. (C) Hasukey lotus park is near my school.We have a lotus festival in July. ②After School, On holidays (A) I go to cram school on Tuesday and Thursday . I attend English class on Sunday. (B) I play basketball on Wednesday and Saturday. (C) I attend English class on Wednesday. And I enjoy badminton on Saturday. ② About doing homework and fun activities after doing homework (D) I spend 30 minutes doing my homework. Then I watch TV for 1 hour. ③ Eat dinner at home or eat out for dinner (E) I eat dinner at home. My favorite food is Oden,Kantoni. (F) I sometimes go out for dinner. I like ③About school life (G) I like Home Economics. I enjoy sewing. This is my epron (<i>showing her work</i>) (H) I like Hasukey Elementary school. I enjoy talking to my friends.
Free conversation (16 min.)	Do you like () ? What sport do you like? What food do you like? What subject do you like? What anime character do you like? What country do you want to go? What do you want to be? How is the weather?
Greetings (1 min.)	(Chen-Ping Elementary School) (Hasukey Elementary School) Final Greetings

6年授業計画

12/20 Skype Project with Chen-Ping Elementary School	
School: Hasukey Elementary School	
Time: 8:40 ~9:20 AM (Taiwan Time)	
Class: 5 th grade, 25 students	
Time: 9:35 ~10:15 AM (Taiwan Time)	
Class: 5 th grade, 25 students	
Purpose: Practicing English in real world while meeting friends in Taiwan	
Procedure:	
1. Opening Greetings: 1 minute	
Principal (Mizu Aoki), Classroom teacher (Sayaka Yano) and Kochi University student (Kiyu Nakamura)	
2. A short self-introduction from each student: 10 minutes	
e.g. My name is ____.	
I study (Math). I like (calculations). [about subjects]	
[Replaceable] [Replaceable]	
After school, I (go to cram school 4 days a week.)	
[Replaceable]	
[about what the students do after school or in their free time]	
3. Q & A: 8 minutes	
What's the temperature in Taiwan?	
How many subjects do you have? What subject do you like?	
What sport do you play in P.E class?	
Do you like Japanese foods? Do you enjoy school life?	
What is a famous fruit in Taiwan?	
What (animal/food/ game/foods/subject/sports) do you like? Why?	
4. Farewell: 1 minute	

5年授業計画

(4) Skype 交流

ア 交流前授業

6年生は昨年度、一度 Skype 交流を経験している。しかし、もう一度興味関心を高めるため、陳平国民小学の説明を行った。二度目であっても、映像を見る子どもたちの姿は興味深々だった。

5年生は、Skype 交流は初めてである。台湾はどこに位置するのか、気温はどれくらいだろうか？となげかけ、5分ほどの陳平国民小学の紹介ビデオを流した。台湾についてもっと知りたい、小学生はどんなことを学習しているのか、知りたい、聞きたいことがたくさんできた。



陳平国民小学のビデオを見る6年生の子どもたち

ビデオを見た後、一人一人が、伝えたいこと、質問したいこと等を考えた。ただ、昨年度の反省も踏まえ「Hi, friends」で学習してきた用語を使っていくことを伝えておくようにした。6年生では主に、「Hi, friends②」の“lesson 3”、“lesson

5”や5年生で学習した内容を、5年生では「Hi, friends①」の“lesson 8”を中心に話す内容を選択し決めていった。簡単な文章にするために、ALTと高知大学院生に支援を要請した。

子どもたちは、伝えよう、覚えようと、友だちと1時間の授業の中で何度も繰り返し言い合って練習し、覚えていった。



イ 交流授業

交流授業数分前、子どもたちは少し緊張気味で席に着いた。

映像がつながると、「おおー」と一気に子どもの表情に笑みが浮かんだ。画面に映っている陳平国民小学の子どもたちの服装は半そで、教室の天井には扇風機が回っていて、暖かさが伝わってきた。



最初に教師間の簡単な打ち合わせを行い交流が始まった。まずは互いの教師紹介、子どもたち全員の自己紹介、次に蓮池小学校は日本のどこに位置するのか、学校紹介や蓮池公園の紹介を行った。

This is Japan.
This is Kochi prefecture.
This is Tosa city.
This is our school.



We have 187 students.
There are 33 students in the 6th grade.
(中国語で紹介した子どももいた)

Hasuike lotus park is near my school.



そして、「Hi, friends」に沿った内容の単語を使って、学校生活や学校外の生活、自分の好きな事や好きなもの、自分ができる事等を紹介した。



I play soccer on Tuesday and Friday.
I like Neymar.



I like ballet.
I go to ballet class on Monday and Thursday.



I enjoy my school life because I can
play with my friends.

I eat out sometime.
I like hamburg.

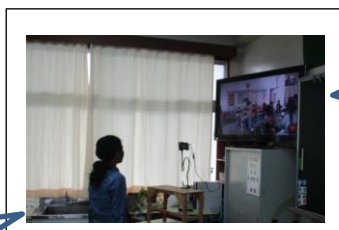


陳平国民小学からも同じように紹介があった。最後に質問
タイムを行った。質問内容は本番までお互いに分からない。

質問が来ると聴き覚えのある単語を自分で聴き取り、今までの学習をもとに答えられる子どもが画面前
に出て答えていった。行きたい国や天気等についての質問が多かった。



What country do you want to go?



I want to go
to Japan.

ウ Skype 交流事前・事後アンケート

高知大学院生の「プロジェクト型外国語活動における自己肯定感の変容」に関するアンケート調査の
依頼があり、次の表はそのアンケート結果の一部である。回答方法は「4 とてもそう思う」「3 そう思

う」「2 そう思わない」「1 まったくそう思わない」の4段階である。表の数値は、4と3と回答した児童の割合(%)を示している。

		6年生		5年生	
		Skype前	Skype後	Skype前	Skype後
1	英語をもっと学びたい	86%	86%	47%	84%
2	町の中や駅などで困っている外国の人に会ったら、英語を使って助けたい	68%	75%	95%	100%
3	外国の友だちをたくさんつくりたい	54%	79%	84%	100%
4	外国の人々の暮らしを知りたい	71%	79%	14%	95%
5	1学期の外国語活動を始める前は授業についていけないのではと不安な気持ちであったが、今はそうではない	54%	71%	84%	89%
6	Skype交流の後、英語を話すことに自信がついた	46%	82%	47%	74%
7	Skype交流の中で、友だちに自分の頑張りを認めてもらうことがあった	43%	68%	95%	89%
8	自分はこのびのびと生きていけると感じる	57%	89%	84%	95%

(5) 成果と課題

6年生では、「外国の友だちをたくさんつくりたい」の項目で25%、5年生では、16%と伸びている。「Skype交流後、英語を話すことに自信がついた」が、6年生では、36%、5年生では、27%伸びている。これは自分の話す内容をしっかりと覚えて伝えられた達成感や、相手が話してることが聴き取れだし、台湾の小学生も自分たちと同じ感覚をもっていることに親しみが湧いたことにもよるのではないだろうか。また、自分が話している時、陳平国民小学のみんなが「おお〜」とリアクションをしてくれ、自分のことばが伝わっているという嬉しさを感じたからだと思う。交流前、友だちと伝え合う学習を行い、友だちと関わり頑張りを認めてもらえたことにより、自分の話す英語に自信がついたという子どももいた。

6年生は回を重ねるごとに、自分の言葉がはっきりしだし、質問に対しても、堂々と応えることができていた。5年生は初めてのSkype交流ということもあり、自分の言葉を相手に伝えることが第一のねらいであった。どの子どもも、ことばをはっきりと大きな声で伝えようとする姿が見られた。質問に対しては、少し緊張気味でおどおどした様子も見られたが、回数を重ねることにより、解消されるのではないかと考える。

課題としては、やはり未習の単語が少なからず出てくることである。その単語は話している本人は理解しているが、聴く方にとっては分からない。しかし、聴き取れた単語だけで予想して考える子どもの姿も見られ、主体的にコミュニケーションをとろうとする姿が見られたことはうれしく思う。

これらの結果を踏まえて、Skypeを通して主体的なコミュニケーション能力を育成することは、有用だったといえるのではないだろうか。

4 おわりに

新学習指導要領改訂のポイントにもあるが、「何ができるようになるか」を明確化する、ゴール設定をして子どもに興味関心を持たせ授業を行うことは、今まで私たち教員が取り組んできたことと本質的に、何ら変わりはないことではないだろうか。

Skypeを活用することで、外国語を学ぶことの楽しみがきっかけとなり、外国語をどんどん使っていきたいという子どもたちが増えてほしいと願っている。次代を担う子どもたちが、積極的にコミュニケーションを図れるように、今後もどのように授業を仕組んでいくのか研究を深めていきたい。